

予算計上の主なもの

北海道・新時代の創造に向けた政策展開

【令和元年度(2019年度)重点政策】

3つの基本姿勢

ピンチをチャンス
に変える道政

新たな発想で
攻める道政

地域とともに
行動する道政

3つの推進基盤

北海道を応援して
くださる方々の
知恵と力の結集

政策推進のための
骨太で筋肉質な
道の体制づくり

北海道創生に
向けた市町村との
スクラム強化

3つの挑戦と10の展開方向

① 北海道への想いを
つなげる豊かな
地域づくりへの挑戦

主な
ポイント ほっかいどう応援団会議の結成

- 1 一人ひとりの希望がかなう地域の創生
- 2 地域を支える交通体系の構築
- 3 健やかに暮らせる医療・福祉の充実
- 4 安全・安心で強靱な北海道づくり

② 多様性と可能性を
活かした確かな
未来づくりへの挑戦

主な
ポイント 外国人材の受入拡大・共生の促進

- 5 地域と産業をけん引する人づくり
- 6 将来を担う子どもたちの成長を支える教育環境の充実
- 7 彩り豊かな文化・芸術・スポーツの振興

③ 地域と未来を支える
活力ある
産業づくりへの挑戦

主な
ポイント 食の世界展開と更なる高みを目指した観光推進

- 8 食と観光の魅力を最大化する北海道ブランドの充実
- 9 優位性や独自性を活かした経済・産業の活性化
- 10 魅力ある力強い農林水産業の振興

活力あふれる北海道の新時代を創り上げる

2 定補正における政策のポイント

① 北海道への想いをつなげる豊かな地域づくりへの挑戦

展開方向

政策のポイント

①	一人ひとりの希望がかなう地域の創生	・ ほかいどう応援団会議の結成	25,000千円
②	地域を支える交通体系の構築	・ 持続的な鉄道網の確立に向けた利用促進等の推進	208,000千円
③	健やかに暮らせる医療・福祉の充実	・ 聴覚障がい者情報提供施設の運営支援	56,125千円
④	安全・安心で強靱な北海道づくり	・ 被災地の実情を踏まえた胆振東部地震災害からの復旧・復興の取組	19,250千円 [当初予算 281億円]

② 多様性と可能性を活かした確かな未来づくりへの挑戦

展開方向

政策のポイント

⑤	地域と産業をけん引する人づくり	・ ワンストップセンターの設置など外国人材の受入拡大・共生の促進	46,692千円
⑥	将来を担う子どもたちの成長を支える教育環境の充実	・ 国際交流の拡大など道立学校における特色ある教育活動の展開	12,000千円
⑦	彩り豊かな文化・芸術・スポーツの振興	・ アイヌ新法の制定を踏まえた新たなアイヌ政策の推進	11,424千円

③ 地域と未来を支える活力ある産業づくりへの挑戦

展開方向

政策のポイント

⑧	食と観光の魅力を最大化する北海道ブランドの充実	・ 魅力ある食の世界展開と更なる高みを目指した観光戦略の推進	(食) 78,489千円 (観光)104,865千円
⑨	優位性や独自性を活かした経済・産業の活性化	・ 食関連産業における先端技術の導入促進	40,000千円
⑩	魅力ある力強い農林水産業の振興	・ ICT技術を活用したスマート農業の推進	33,972千円

① 北海道への想いをつなげる豊かな地域づくりへの挑戦

1 一人ひとりの希望がかなう地域の創生

政策のポイント

☑ **ほっかいどう応援団会議の結成**  **2 定補正額** 25,000千円

- 北海道が持つ可能性を最大限に発揮するため、北海道を愛する方々が集い、交流するネットワークを「ほっかいどう応援団会議」として結成し、民間が有する力やノウハウを結集。

<事業イメージ>

北海道を愛する方々

北海道にゆかりのある、
又は想いのある企業・団体

関係人口として北海道を
応援していただける方々

民間が有する力やノウハウを結集

北海道にゆかりのある、
又は想いのある文化人、著名人

- ・「ほっかいどう応援団会議」を通じ、本道の活性化に向けた道内市町村の取組への支援を獲得。

【道と市町村への支援の獲得に向けた取組（予定）】

① 「ほっかいどう応援団」 拠点サイトの構築

- ・「道や市町村が応援を求める取組」「応援する企業等の取組事例」を可視化し、一元的に発信

連携・活用

- ・民間が有するノウハウやデータなどを活用しながら、ネットワークの拡大及び更なる支援を獲得

② 「ほっかいどう応援セミナー」 の開催等

- ・知事や市町村長のトップセールス（東京、大阪、名古屋）

- ・北海道の魅力を広く道外にアピール

北海道への応援を要請

【想定される応援の手法】

- ・ふるさと納税（個人・企業）
- ・クラウドファンディング等

- ・包括連携協定
- ・タイアップ事業等

資金提供
事業活動
協働活動
その他

- ・道産品の販路拡大、PR等

- ・専門的スキルを活用したボランティア活動等

① 北海道への想いをつなげる豊かな地域づくりへの挑戦

2 地域を支える交通体系の構築

政策のポイント

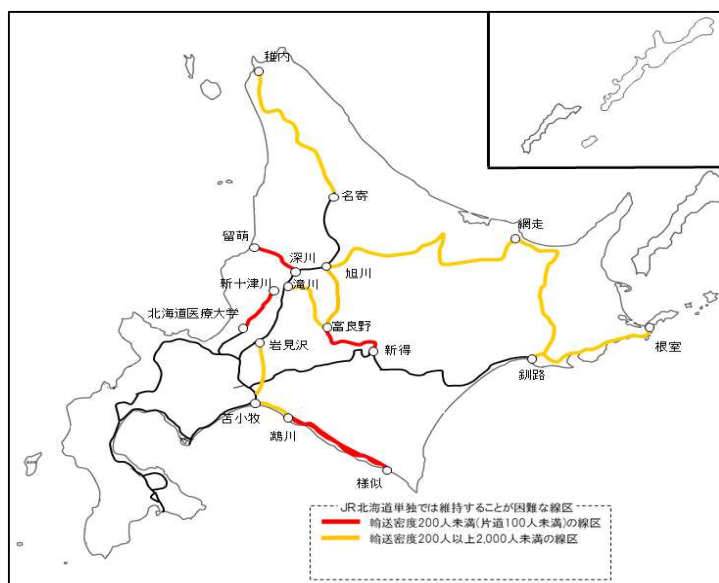
☑ 持続的な鉄道網の確立に向けた取組の推進

新

2 定補正額

208,000千円

○ 平成28年11月、JR北海道単独では維持困難な線区を発表。



これまでの道の取組

- 鉄道ネットワークのあり方の検討
⇒「北海道交通政策総合指針」策定（平成30年3月）
- 沿線市町村をはじめとする地域関係者との協議
- オール北海道による要請活動
- 関係者会議の開催（計5回）
※緊急的かつ臨時的な支援の実施に向けた協議を確認
- 全道的な利用促進の取組展開（復興クリスマストレインの運行など）

○ 令和2年度にJR北海道に対する支援の根拠となる債務等処理法の期限が到来。

○ JRの経営改善に資する取組を進めながら、法改正を見据え、持続的な鉄道網の確立に向けた仕組みの検討を進める。

<整理すべき課題>

国と地域の役割分担

地域の負担規模

地方財政措置

Etc.

区分	取組の概要
緊急的かつ臨時的な支援 200,000千円	○ 新たな観光列車の運行に必要な車両整備や、Wi-Fiの設置など駅の利便性向上など維持困難線区における利用促進に資する設備投資に対する支援
全道的な利用促進 8,000千円 (2定現計 28,000千円)	○ 公共交通の利用促進運動の展開や道外・海外観光客の利用拡大など北海道鉄道活性化協議会が行う利用促進等の取組に対する負担
法改正に向けた検討	○ 本道の地域特性や実情を踏まえた支援制度の構築に向けた検討



みんなで乗れば、
未来が変わる。
考えよう、行動しよう、公共交通の未来。

① 北海道への想いをつなげる豊かな地域づくりへの挑戦

3 健やかに暮らせる医療・福祉の充実

政策のポイント

☑ 聴覚障がい者情報提供施設の運営支援

新

2 定補正額

56,125千円

○ 聴覚障がいのある方々の社会参加の促進に向けた施設運営を支援。

《聴覚障がい者情報提供施設の概要》

区分	内容
設置・運営	北海道ろうあ連盟
場所	札幌市中央区北2条西7丁目(かでの2.7) ※各振興局に手話通訳員を配置(14名)
運営内容	・手話通訳者の配置 ・動画製作・貸出 ・遠隔手話サービスの提供 等



4 安全・安心で強靱な北海道づくり

政策のポイント

☑ 被災地の実情を踏まえた胆振東部地震災害からの復旧・復興の取組

新

2 定補正額

19,250千円

- 被災地域の企業の商品開発・販路拡大への支援
- 被災森林の復旧手法の検討

9,250千円
10,000千円

《復旧・復興関連予算の状況》

- 当初予算と2定補正を合わせ、一日も早い復旧・復興の実現に向け取組を推進。

